

# ぎかい

24号

北海道大空町議会だより  
平成24年(2012年)5月31日発行

## こんなことがきました! こんなできごとがありました!

～平成24年第1回定例会～

- ◆平成24年度の「まちの予算」が決まる! …… P2
- ◆まちの憲法ともいうべき「自治基本条例」が提案される …… P6
- ◆提案された平成24年度「まちの予算」  
詳細を「予算審査特別委員会」で審議 …… P10
- ◆「町政を問う!」  
町政全般に関する議員からの「一般質問」 …… P16

## 議会報告会を開催しました!

～本町議会では2回目の開催～ …… P22

提案された自治基本条例制定の審査のため

## 自治基本条例審査特別委員会を設置! …… P24

- その他: 常任委員会活動状況報告、議会活動掲示板 など



表紙/春の訪れを感じさせる町の花 芝桜と水芭蕉

# 決まる!

予算総額102億1,050万円

平成24年度の各会計歳入歳出予算が、3月8日から15日まで、8日間の会期で開催された平成24年第1回定例会に提案されました。

今後のまちづくりに大きくかかわる重要な内容であることから、議会に「予算審査特別委員会」を設置し、同委員会で慎重に審議した結果、各会計予算は原案どおり可決すべきとの審査結果が示されました。

特別委員会での審査結果が本会議で報告され、全員議員の賛成により、平成24年度予算が決まりました。

※予算審査特別委員会での審議概要は、P10から掲載しています。

子どもたちの「夢」を実現し、働く人たちの「元気」を支え、生活の「安心」を守るまちづくりを目指し、平成24年度予算編成にあたってきた。各種事務事業執行にあたり、町民皆様のまちづくりへの参加にご理解・ご協力をお願い申し上げます。

(町政執行方針より)



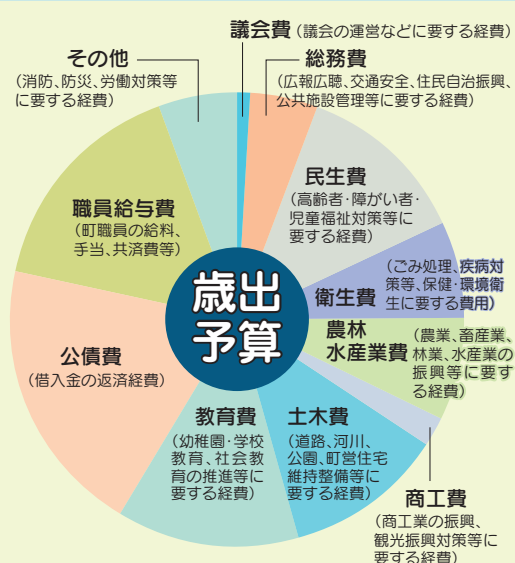
山下町長

## 平成24年度 各会計予算総額

会計名	本年度予算額	前年度予算額	前年度対比
一般会計	75億8,649万円	73億2,596万円	+2億6,053万円 (+3.6%)
国民健康保険事業特別会計	11億4,941万円	11億3,631万円	+1,310万円 (+1.2%)
後期高齢者医療特別会計	9,958万円	9,117万円	+841万円 (+9.2%)
介護保険事業勘定特別会計	6億301万円	6億3,247万円	△2,946万円 (△4.7%)
介護サービス事業勘定特別会計	857万円	848万円	+9万円 (+1.1%)
簡易水道事業特別会計	3億6,391万円	4億704万円	△4,313万円 (△10.6%)
下水道事業特別会計	3億6,970万円	3億3,682万円	+3,288万円 (+9.8%)
個別排水処理事業特別会計	2,983万円	2,940万円	+43万円 (+1.5%)
合計	102億1,050万円	99億6,765万円	+2億4,285万円 (+2.4%)

## ●歳出予算

議会費	7,001万円 (0.9%)	[対前年度比 +40.0%]
総務費	3億6,594万円 (4.8%)	[対前年度比 +30.5%]
民生費	9億3,060万円 (12.3%)	[対前年度比 △7.3%]
衛生費	5億2,266万円 (6.9%)	[対前年度比 △5.3%]
農林水産業費	5億5,434万円 (7.3%)	[対前年度比 +18.1%]
商工費	1億5,860万円 (2.1%)	[対前年度比 +3.5%]
土木費	8億5,975万円 (11.3%)	[対前年度比 +41.5%]
教育費	9億8,504万円 (13.0%)	[対前年度比 △4.1%]
公債費	15億87万円 (19.8%)	[対前年度比 △3.5%]
職員給与費	12億1,324万円 (16.0%)	[対前年度比 △3.4%]
その他	4億2,544万円 (5.6%)	[対前年度比 +14.7%]



# 平成24年度 予算が

～子どもたちの「夢」を実現し、働く人たちの「元気」を支え、  
生活の「安心」を守るまちづくりを目指して～



子どもたちの「夢」を



生活の「安心」を

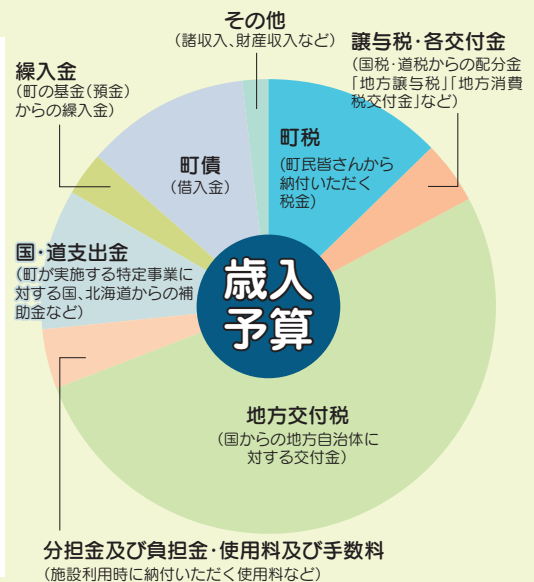


働く人たちの「元気」を

## 一般会計歳入歳出予算総額 75億8,649万円の内訳

### ●歳入予算

町 税	9億6,324万円(12.7%)	〔対前年度比 +5.0%〕
譲与税・各交付金	3億3,891万円(4.4%)	〔対前年度比 △7.0%〕
地方交付税	39億4,269万円(52.0%)	〔対前年度比 +2.0%〕
分担金及び負担金・ 使用料及び手数料	3億2,238万円(4.2%)	〔対前年度比 △5.5%〕
国・道支出金	7億5,749万円(10.0%)	〔対前年度比+11.7%〕
繰入金	2億3,555万円(3.1%)	〔対前年度比+107.6%〕
町 債	8億8,561万円(11.7%)	〔対前年度比 +3.6%〕
そ の 他	1億4,062万円(1.9%)	〔対前年度比△26.3%〕



# 「大空町総合計画」の基本目標に照らし合わせて紹介します。

基本目標

4

## さわやか生活のまちづくり



- 道路整備事業 2億4,642万円
- 町営住宅建設事業 1億6,298万円
- リサイクル推進事業 2,616万円
- 東日本大震災支援対策事業 199万円
- 消防救急デジタル無線整備事業 500万円
- 新規国内定期便運行助成事業 428万円
- ごみ処理事業 1億4,829万円
- 自動体外式除細動器(AED)購入助成事業 40万円
- 防災計画修正事業 395万円
- 高規格救急自動車整備事業 3,616万円

基本目標

5

## ふれあい協働のまちづくり

- 自治会運営費交付金・自治会活動支援交付金 1,422万円
- 元気づくり応援事業補助金 220万円
- 議場音響機器更新 950万円
- 広報広聴事業 1,127万円
- 戸籍事務OA化事業 5,355万円



## 平成24年度の主な事業・予算概要

# 総合的・計画的なまちづくりを進めるために策定した

### 基本目標

## 1

### はつらつ産業のまちづくり

- 中山間地域等直接支払事業 2,305万円
- 農業担い手実践研修支援事業 100万円
- 環境保全型農業直接支援対策事業 210万円
- レーザー式均平作業機導入事業 3,090万円
- 農業農村整備事業 1億7,000万円
- 農業体質強化基盤整備促進事業 4,725万円
- 未来につなぐ森づくり推進事業 2,278万円
- 藻琴山温泉芝桜公園整備事業 4,649万円
- 住宅リフォーム促進事業 1,200万円
- ポイントカード事業 200万円
- 観光情報クロスメディア発信事業 196万円
- 企業誘致対策事業 2,916万円



### 基本目標

## 2

### あったか福祉のまちづくり

- 救急医療対策事業 370万円
- 女満別中央病院医療環境等充実事業 4,502万円
- 母子保健・疾病予防・健康増進事業 3,900万円
- 社会福祉協議会助成事業 2,372万円
- 子ども手当扶助事業 1億3,918万円
- 保育園管理運営事業 4,670万円
- 障がい者自立支援事業 1億4,862万円
- 障がい者福祉施設運営事業 2,620万円
- 特別養護老人ホーム整備事業 8,000万円



### 基本目標

## 3

### のびやか文化のまちづくり

- 女満別小学校改築事業 1億4,401万円
- 東藻琴中学校大規模改修 1億7,783万円
- 女満別湿性植物群落調査事業 153万円
- 姉妹都市交流事業 516万円

# 「自治体の憲法」とも呼ばれる 「自治基本条例」が提案される

町民主体の「大空町自治基本条例（仮称）検討委員会」での長期にわたる審議によりまとめられた「自治基本条例（仮称）最終報告書」を土台にした「大空町自治基本条例」が提案されました。

自治基本条例は主権者である町民主体の自治を実現するために定めようとするもので、「自治体の憲法」とも言われています。

※特別委員会での審査概要はP24から掲載しています。



町民主体の自治を目指して

## 〔各段階別の介護保険料一覧〕

保険料の段階	対象となる方の区分	改定前の年額 (平成21年度～23年度)	改定後の年額 (平成24年度～26年度)
第1段階	①老齢福祉年金受給者で、世帯全員が住民税非課税の場合 ②生活保護を受給されている方	18,600円 (1,550円/月)	24,000円 (2,000円/月)
第2段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得金額と年金収入の合計が80万円以下の場合	18,600円 (1,550円/月)	24,000円 (2,000円/月)
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得金額と年金収入の合計が80万円を超え120万円以下の場合	27,900円 (2,325円/月)	30,000円 (2,500円/月)
	世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得金額と年金収入の合計が120万円を超える場合		36,000円 (3,000円/月)
第4段階	①本人が住民税非課税（世帯内に住民税課税者がいる場合） ②本人の合計所得金額と年金収入の合計が80万円以下の場合	32,550円 (2,713円/月)	42,000円 (3,500円/月)
	本人が住民税非課税（世帯内に住民税課税者がいる場合）	37,200円 (3,100円/月)	48,000円 (4,000円/月)
第5段階	本人が住民税課税で合計所得金額が190万円未満の方	46,500円 (3,875円/月)	60,000円 (5,000円/月)
第6段階	本人が住民税課税で合計所得金額が190万円以上の方	55,800円 (4,650円/月)	72,000円 (6,000円/月)

「65歳以上の方の介護保険料を改定」  
「介護保険制度」の運営財源となる65歳以上の

方の介護保険料が、介護サービス提供に要する給付費や人口推移など今後の推計をもとに、平成24年度から次のとおり改定されます。大空町の保険料は、管内で中位程度です。

**町の職員定数が減員に！**

条例で定める町の職員定数が、平成24年4月1日から170人↓150人へ減員されました。

**【定住自立圏形成協定を見直し】**

昨年3月に網走市と締結した「定住自立圏形成協定」に基づく相互取組の充実を図るため、協定内容として次の3項目が追加されました。

- ① 防災体制の強化
- ② 地場産業の振興
- ③ 定住自立圏域への交流人口拡大のため、文化・スポーツ合宿、各種イベントなどに関する圏域内外への情報発信、情報共有

本町と網走市とが相互に役割分担し、取組の充実化を図っていくこととなります。

**【指定管理者を指定】**

民間事業者などのノウハウを活用したサービスの向上や管理経費削減のため、町の施設を管理運営する指定管理者を指定しました。

施設の所在地及び名称	指定管理者の住所及び名称	指定管理者の指定期間
大空町女満別西4条4丁目64番地の1 女満別伝承館 (新規制度導入施設)	大空町女満別西4条4丁目1番6号 社会福祉法人 大空町社会福祉協議会 会長 鈴木 武昭	平成24年4月1日から 平成27年3月31日まで
大空町女満別西4条5丁目353番地の8 女満別農業構造改善センター (指定期間満了に伴い更新)	大空町女満別西4条5丁目4番10号 社会福祉法人 女満別福祉会 理事長 豊島 寛	平成24年4月1日から 平成29年3月31日まで

**質疑と答弁**

(女満別伝承館関係)

**小島議員**

困暮会館前の舗装は、財産管理上のものなのか。敷地内の樹木も全部管理対象になるのか。参考資料などで詳しい説明が必要ではないか。

**社会教育課長**

困暮会館前の駐車場から女満別中央病院まで、伝承館の並びの敷地は1つの大きな地番になっている。樹木も敷地内にあり、今も一体的に管理している。その部分を含めて、管理スペースに盛り込んだ。

**【「過疎地域自立促進市町村計画」に4事業を追加】**

過疎地域の自立促進、住民福祉向上などを目的とした「過疎地域自立促進特別措置法」に基づく市町村計画に、次の4事業が追加されました。

- ① 道路改良舗装事業 (東藻琴7号線)
- ② 防災無線整備事業 (老朽化による更新)

- ③ 高齢者福祉施設整備事業 (特別養護老人ホーム)
- ④ 東藻琴中学校大規模改修事業

本計画に記載される事業は、条件が有利な「過疎対策事業債」を借り入れることができます。

**【職員給与を見直し】**

50歳代の職員給与が民間給与を上回っていることなどから、該当する町職員の給与額が見直されます (減額)。

**【事業財源確保のために】**

地域農業の振興などを目的とした「国営美女地区かんがい排水事業」の町負担額の支払いのため、「国営美女地区かんがい排水事業基金条例」が制定されました。

本基金に積み立て(貯金)して、後年度の負担に備えようとするものです。

**【芝桜公園の管理施設を追加】**

藻琴山温泉芝桜公園施設内に整備した「温室



芝桜公園温室の様子

(イチゴ栽培ハウス)が、藻琴山温泉芝桜公園条例に公園内の施設として追加されました。

**【東藻琴弓道場を町の体育施設に】**

これまで東藻琴高校の施設として管理していた弓道場を現状にあわせ、条例に規定して町の体育施設として管理することとされました。

**【町内の産業振興・雇用機会創出のために】**

企業誘致促進・誘致企業への支援拡充のための助成措置に、次の内容が追加されました。

- ① 対象業種に太陽光、風力や冰雪など「新エネルギー電力供給施設」を追加
- ② 工場での製造、加工や修理のために借り上げる機械の賃借料に対する助成
- ③ 事業所新設・増設への投資規模が一定額以上の場合、助成期間を延長
- ④ 本町内に進出する、東日本大震災での被災事業所への助成

# 一回メモ

(※1) 地域主権改革一括法

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」のことで、平成23年5月2日に第1次として、8月30日に第2次として公布されました。

多くの法律を一括して改正し、地方自治体の自主性強化、自由度拡大のため、義務づけや枠づけ、特に施設設置管理などでは、従来国が定めていた基準のいくつかが地方自治体の条例で規定されるなどといった見直しがされます。

- 【義務づけ・枠づけの見直しによる変更】
- ① 公民館、東藻琴農村環境改善センター、東藻琴生涯学習センターの各運営審議会を廃止
- ② 図書館運営協議会を「図書館協議会」に改める。
- ③ 社会教育委員、図書館協議会委員委嘱基準の見直し
- ④ 公営住宅法改正のため、同法からの町営住宅条例引用条文修正
- ↓ 公営住宅法の入居資格要件から同居親族が撤廃されたが、本町は引続き条例に規定し、対応。

## 【本定例会での補正予算概要】

◆一般会計：予算総額1,891万円増の77億8,668万円

### 《一般会計補正予算の主な内容》

【歳入】	【歳出】
●強い農業づくり事業補助金 +1,625万円 (国の4次補正)	●強い農業づくり事業補助金 +1,625万円 (国の4次補正。農業者が整備する野菜収出荷貯蔵施設への補助)
●農業体質強化基盤整備促進事業補助金 +1億8,420万円 (国の4次補正)	●農業体質強化基盤整備促進事業補助金 +1億8,945万円 (国の4次補正。農地排水対策への定額補助)
●開陽中央線道路整備事業交付金 △3,445万円	●開陽中央線道路整備事業 △5,030万円 (社会資本整備総合交付金配分大幅減)
●町税(個人) +1,796万円 (給与所得の伸び等による増)	●公共施設等整備基金積立金(預金) +5,479万円
●たばこ税 +1,224万円 (増税の影響による消費減が小幅)	●東日本大震災支援対策事業 △122万円
●農業基盤整備事業分担金 △1,533万円 (東日本大震災の影響による事業費減)	●子ども手当扶助 △2,322万円 (制度改正等による減)
●子ども手当交付金 △2,270万円 (制度改正による減)	●任意予防接種助成金 △300万円 (子宮頸がん、Hibワクチン、肺炎球菌ワクチン等の接種見込減)
●学校施設環境改善交付金 +1,375万円 (女満別小学校建設工事交付金再配分追加)	●一般廃棄物最終処分場焼却炉解体工事 (ダイオキシン分析調査による事業費抑制及び入札執行残) △1,626万円
●備荒資金組合災害支消金 △3,060万円 (今回の補正により支消金受入れ不要に)	●都市公園管理委託料 △629万円
●障害者福祉施設整備事業債(借入金) (事業費確定による減) △90万円	●住宅リフォーム補助金 △847万円 (申請取り下げ等による減)
●公有林整備事業債(借入金) (事業費確定による減) △220万円	●北海道市町村備荒資金組合納付金 (今後の災害対策のために追加) +7,000万円
	●女満別小学校建設工事 (設計単価減及び入札執行残) △4,445万円
	●地方債(借入金)利子償還金 (借入金利率の低減) △978万円

- ◆国民健康保険事業特別会計：予算総額 1,783万円減の11億8,877万円
- ◆後期高齢者医療特別会計：予算総額 8万円減の9,053万円
- ◆介護保険事業勘定特別会計：予算総額 1,276万円減の6億3,164万円
- ◆介護サービス事業勘定特別会計：予算総額 4万円減の847万円

- ◆簡易水道事業特別会計：予算総額 5,126万円減の3億5,562万円
- ◆下水道事業特別会計：予算総額 1,721万円減の3億2,966万円
- ◆個別排水処理事業特別会計：予算総額 61万円減の2,880万円



# 質疑と答弁

(補正予算関係)

〔障害者福祉施設整備事業債〕

品田議員 障害者福祉施設整備事業債の元金返済が据え置かれる5年間の利子はどのくらいで、返済総額はどの程度になるのか。

総務課長 借り入れる利息を2%前後で想定している。2%とする、5年の据置期間での利子が384万円程度、返済期間30年だと元金のほかに1,300万円程度が利子負担になるのではないかと。

〔公有林整備事業債〕

品田議員 返済期間が40年以内、元金の返済が25年据え置かれるが、据置期間の利子総額と元金返済総額は、どの程度になるのか。

総務課長 借り入れ利息を2%前後で想定している。2%とする、5年の据置期間での利子が384万円程度、返済期間30年だと元金のほかに1,300万円程度が利子負担になるのではないかと。

元金のほかに約400万円の利息が発生する見込み。

〔地方債利子償還金〕

品田議員 減額の要因をお聞きしたい。

総務課長 平成22年度の借入金にかかる利息が見込みより低かったことによるものである。

〔東日本大震災支援対策事業〕

品田議員 30%程度の減額補正となった理由は。

総務課長 被災地への職員支援経費として見込んでいた旅費と、福島県のほうから本町の町営住宅に入居された方の家電製品等借上料が見込みより多く余ったことによる。

〔都市公園管理委託料〕

品田議員 委託料の減額要因は。

建設課長 入札価格が低かったことによる執行残額である。

〔東藻琴中学校大規模改修事業〕

品田議員 総務文教厚生常任委員会で、説明を受けた記憶が一切ない。そのことについてどうお考えか。

教育長 学校や保護者と協議を重ねてきたが、中間で常任委員会へ説明をするべきだったと反省している。新年度で具体的工事に着手したい。実施設計の内容を常任委員会に説明する機会を設けたい。

〔各委員の選任に同意しました〕

〔教育委員会委員〕

(予定任期：平成24年6月12日～平成28年6月11日)



神田 靖治氏 (東藻琴新富)

〔固定資産評価審査委員会委員〕

(予定任期：平成24年6月12日～平成27年6月11日)



藤井 清志氏 (女満別開陽)



田中 一氏 (東藻琴中央区)



番場 理氏 (女満別西5条3丁目)

## 議会提出案件

● 議会に設置する各委員会で、議会閉会中も継続して所管する課題などの審査、調査等を行うことを決定しました。

● 懸念事項促進に向けて、必要の都度、議長の命により、議員を派遣する。

● 国に対して要望意見書を提出しました(内容はP.29に掲載しています)。

● 町の出納状況などを検査する「例日出納検査」の結果が監査委員から報告され、了承しました。

## 定住自立圏構想に関する特別委員会調査を終了

● 平成23年3月8日に設置した「定住自立圏形成協定調査等特別委員会」の設置目的は達成された。別委員会で調査を終了しました。

## 〔特別委員会の調査結果報告要旨〕

定住自立圏共生ビジョンを見直す場合、今後も共生ビジョン懇談会、両市町担当課等で検討し、その経過は議会にも報告されることを確認した。

今後、共生ビジョン見直しは議会常任委員会所管事項ごとに説明を受け、定住自立圏形成協定の変更は議員協議会で説明を受ける。

「定住自立圏共生ビジョン」の実践を通して、行政区域を越えた住民相互の利便性を高める施策が展開されることを期待する。

※ 議案に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。詳細は議会ホームページ、両地区図書館で閲覧できる「会議録」をご覧ください。

# ともに支えあって暮らすことができる よりよい「まち」を目指して

～平成24年度 まちの予算を審議～ (予算審査特別委員会)

平成24年第1回定例会に提案された平成24年度大空町各会計予算は、今後のまちづくりに大きくかかわる重要な内容であることから、議会に「予算審査特別委員会」を設置して慎重に審議していくこととしました。

3月12日～14日の午前まで各課から個別に説明を受けて審議し、14日の午後からは本会議形式で予算の全体を審議する「総括質疑」を実施しました。慎重な審議の結果、**予算審査特別委員会では平成24年度予算を提案された内容のとおり可決するべきものと決定し、本会議で平成24年度予算が全議員の賛成により可決されました。**

本特別委員会の総括質疑での質疑・答弁の概要をお知らせします。

## 予算審査特別委員会での審議概要

※内容は要約しております。詳細は、両地区図書館及び議会ホームページに掲載している「予算審査特別委員会会議録」をごらんください。

### 一般会計 歳入

#### 【固定資産税関係】

##### 小島委員

太陽光発電

装置は、償却資産の対象になるのではないかと

##### 副町長

土地、家屋、償却資産が固定資産税

対象であり、1月1日時点で事業用資産として利用されていれば、それに限り課税対象になると思っている。

#### 【たばこ税関係】

##### 小島委員

歳出側でも

たばこ税の収入に見合った対策として施されている気配がない。たばこ税は地方公共団体の税収入の安定的な一部だと思ふ。それがふえていることについて、もう少し考え方がじみ出てきてもいいのではないかと。

##### 町長

歳入がふえること

とはありがたいが、健康の問題など、特定健診などにも力を入れなければならぬ。たばこが健康被害そのものなのかなど、簡単に結論は出ないかもしれないが、最終的には国全体でいろんな議論をしていくべきではないかと。

#### 【固定資産税/国有資産等 所在市町村交付金関係】

##### 小島委員

林道に変更

した湖畔の道路は、交付金の対象なのか、公衆用道路として交付対象外なのか。

##### 住民課長

林道も公衆

用道路扱いとして、交付金対象外となっている。



湖畔観光線 温性植物群落周辺から林道管理されています

【財産収入／土地貸付料  
関係】

品田委員 年額の請求書を出されているかと思う。窓口で分割支払いを申し出たところ、断られた事例がある。分割納付の対応はとれなかったのか。

総務課長 土地貸付契約上、年額請求になっているが、そういう事案があれば相手方の話を聞き、対応するように努めたい。

【税、住宅使用料の滞納  
関係】

齋藤委員 滞納は年々減っていると思うが、その現況と今後の町としての対応方法は。大分県由布市では、差押え物件などのインターネット公売に取り組んでいる。もっと目新しい取組がないのか。

住民課長 関係課の協力を得ながら徴収に当たり、差押え等も実施している。平成24年1月末現在の滞納状況は、

町税が223件で6,065万円、町営住宅等使用料が45件で1,638万円という状況。今後も預貯金調査等を行いながら預金の差押え等も実施し、取り組んでいきたい。

町としてもインターネット公売に取り組みながら進めたいと考えているが、いろいろないい方法など、情報収集しながら取り組んでいきたい。

【町有地に立地する神社の取扱い関係】

勝田委員 町有地にある神社について、高等裁判所の判決によって賃貸使用することで整理されたようだが、どこに予算計上されているのか。

東藻琴総合支所長 憲法に違反する神社の関係は、有償貸付で違憲状態を解消できることになった。最終的に関係する自治会と協議し、ことしの4月1日から貸付することとしたい。

金額的には数十十から数百円であるが、平成24年度予算としては計上されていない。

【町債／臨時財政対策債】

勝田委員 去年は3億円程度、ことしは2億円程度の予算で減少しているが、これを今後発行せずに財政運営していくことができないのか。

総務課長 臨時財政対策債は、地方交付税措置される分を地方公共団体に借金させ、後年度に100%地方交付税措置するものである。借り入れせずとも予算の帳じりが合えば可能だが、今の町の財政事情では、借り入れしていく姿勢でいる。

## 一般会計

【農業農村基盤整備事業  
関係】

近藤委員 事業者や受益者である農家などと事前に計画を練った中で取り組む必要があると思うが、どのように進めていく予定なのか。

産業課参事 本年度の国の4次補正予算で割り当てられた部分もあり、3月1日から受益者への聞き取り調査を行っている。事業をスムーズに進めるため、本町建設業協会を通じて施工業者に調査内容について情報提供し、資材、機械、労務等の確保及び受益者との打ち合わせに役立てていただくようお願いしている。

【ジェットラインさわやかマラソン大会・もこと山ふきおろしまラソン大会関係】

近藤委員 旧町村時代から取り組んでいる伝

統的大会と思うが、ある会議の中で両地区をまたがるマラソン大会を企画してはどうかという話があった。そういった声が担当へ届いているのか。そのような意見をどう考えるか。

社会教育課長 両大会の開催趣旨が異なり、一本化が難しいという内部検討もある。大会趣旨と今後の取り組み方を検討しながら、考えていきたい。



ジェットライン  
↓さわやかマラソン大会



↑もこと山ふきおろしまラソン大会

【特別支援コーディネーター関係】

【松田委員】 特別支援コーディネーターは、特別支援教育を念頭に置いて配置するのか。

【学校管理課長】

町内の保育園、幼稚園や各学校に在籍し、何らかの支援を必要とする子供たちに対する福祉の向上と教育の充実を図ることを目的に、平成24年度から配置する。業務内容として保育園等での療育支援、保育園等から小学校、小学校から中学校への移行支援、個別支援計画の策定指導、子供の相談支援ファイル作成、特別支援連携会議や就学指導委員会に関することなどに従事する方を雇用し、進める事業である。

【備品購入費／放射能測定器関係】

【中堀委員】 空気中の放射能を測定するようだが、食材等への対応はどうするのか。

【住民課長】

食品への対応は、今後検討しながら考えたい。

【異業種交流事業関係】

【齋藤委員】 将来的に異業種交流事業をどのような形で進めていこうと考えているのか。

【産業課長】

若者の自発的、自主的な活動に移行していくことの願いを持っている。

【教育全般の総括として】

【品田委員】

教育委員会では、学力向上についてどのような施策で臨もうとしているのか。また、子供たちへの原子力の教育についてどのような所見を持っているものとして臨もうとしているのか。

【教育長】

北海道で積極的に進めている授業力・基礎力アッププロジェクトにある「チャレンジテスト」を活用した家庭学習での定着

や、平成23年度には町として任期つきの教員を配置し、多人数学級の解消にも当たってきた。そういったチャレンジテストなどの必要なツールを使い、マンパワーを最大限活用した中で学力向上を進めていきたい。

原子力の教育に関して、震災後は地震を想定した避難訓練も実施している。小学校等では陸前高田市で支援活動を行った町職員から現地の状況などを聞き、子供たちも真剣に学んでいた。今後も被災地支援は継続するため、情報として子供たちに伝えながら防災教育の向上を目指したい。

【各長寿命化計画関係】

【品田委員】

公営住宅、橋りよう、都市公園などの長寿命化計画を順次立てていく中で、早期着手が必要、不要といったような調整をどのように考え、今後進めていくのか。



被災地支援活動の様子を熱心に聞く子どもたち（女満別小学校）

【建設課長】

公営住宅長 寿命化計画は平成23年度に計画を作成しており、平成24年度予算では住宅建設等の予算を計上している。

橋りように関しては平成23年度、24年度に全橋りよりの調査を

実施し、平成25年度に長寿命化計画を作成していく予定。

都市公園に関しては平成24年度に計画を策定し、どのように公園内施設の計画的改築、更新をしていくか検討する。

【女満別小学校建設・東藻琴中学校大規模改修工事関係】

【小島委員】

女満別小学校新築、屋体等工事に関して、幅広く地元に関し、幅広く地元になつていくかの資料要求をしたところ、必ずしもそうならなかった。平成24年度の建設工事、改修工事に当たつての考え方は、行政として、公正な判断かつ地域経済を考慮した基本姿勢が必要ではないか。

【学校管理課長】

発注時の仕様書に、特記事項として地元企業活用に関する内容の文章を載せる予定だが、その参加率までの記載はできないと判断している。

【副町長】

教育委員会だけにかかわることではない。地元の育成という観点から、十分配慮して対応したい。

【女満別湿性植物群落調査委託料】

小島委員 単年度事業

と思っていたが、平成25年度も実施予定とのことである。2力年度にわたって実施する意味があるのか。

社会教育課長 確かに

1年で調査が完了することが正解ではあるが、1年で調査結果がどうか、打合せしながら進めていきたい。

【地域自治振興事業／旅費関係】

勝田委員 町長の海外

研修等を考えて予算化しているのか。国立社会保障・人口問題研究所が、20年後から25年後には人口が1億人をきるといふ将来予測を出している。先が大体見えるようなら、日本の人口動態に似たような国などを視察して行くことで、先に施策を打てるのではないか。

総務課長 海外研修を

予定した予算は、計上

していない。

町長 質疑の趣旨は十

分理解し、平成23年度も取り組んできたつもりである。そういう姿勢をもって、平成24年度も臨んでいきたい。

副町長 首長として、

できるだけ多くの機会にいろいろな研修に出たいただよう配慮する。

### 介護保険事業 勘定特別会計

【見守りネット事業関係】

近藤委員 孤立死や孤

独死に関する事件がふえ、耳にする機会が多くなった。町内の民間事業者やライフラインに関係する方々との連携など、孤立死防止を図っていく上で、本町の可能性をどのようにお考えか。

また、本町の規模では一定の地域内、自治会ごとの取り組み方があっていいと思う。自治会活動として支援

していく部分に値することかと思うが、お考えは。

福祉課長 郵便局、新

聞配達、水道検針、町広報誌の配達など、そういった機会を利用して情報収集の取組について準備を進めている。昨年、東藻琴でも孤立死の事例があった。民生委員児童委員協議会の中でも再度の確認をお願いしながら進めている。

町長 平成23年度から

自治会の活動支援交付金を交付している。その中で高齢者自宅訪問や高齢者の集まる機会をつくるなど、そういった部分にも活用いた

だきたい。大勢の方々が、かわりを持って初めて孤立死の可能性を限りなくゼロに近づけられるのではないか。皆様方の協力をいただきながら、努力したい。

## 総括質疑

【東日本大震災支援関係】

松田委員 被災地支援

を継続的に行っていることとする中で、ここ数日、報道で被災地の瓦れき処理がクローズアップされているが、町はどういった情報を得ているのか。

住民課長 国の動向と

して、瓦れき広域処理のため、全都道府県に文書で受入れ要請を行うこと、受入れ市町村に対する追加支援策として、放射線量の測定や住民説明会の開催等に要する経費を全額国が負担するなどの報道がされている。

北海道では、受け入れる市町村があれば、放射性セシウムの濃度の安全基準を個別に設定するなどした基本方針をまとめているようだが、その基準は市町村に周知されていない。

町長 放射線量、瓦れ

きの分別状況、安全数値の基準や国の支援経費など、いろいろな報道されているが、町として具体的に入手している情報がない。情報が入れば、その状況によって対応可能かどうか考えなければならぬ。職員に対し、放射能

のことは別に、焼却量、焼却可能な物、埋め立て処分場の利用可能期間など、物理的なことを事前に把握するよう指示した。今後、国や北海道から詳細な情報が入れば、報告していきたい。



被災地支援活動の様子

【女満別湖畔休憩所関係】  
小島委員 湖畔休憩所等の関係は、どうなっているのか。



湖畔休憩所

産業課長 北海道から大空町に施設を移管したいという方向が出た。湖畔の園地整備は市町村が補助先になること

ができず、北海道が補助先になって整備し、そのままの状態が続いてきたが、今回整理させていたたく。移管後は園地の条例等を整備して適正に管理していきたい。

町長 平成24年度に向けて無償譲渡の話がきているが、その話を聞いた時点では平成24年度予算がかたまっており、さまざまな経費を計上できなかった。今後どういう形で管理していくかということもあるが、現在その部分を管理いただいている団体など町との関係を改めて、いろいろな視点から見直して、きちっとした形にしていきたい。

【商工会・観光協会補助金関係】

小島委員 商工会補助金の中の商店会人件費分八十数万円は減額し、めまんべつ観光協会も同様に人件費の不適切経理処理等々があって、

そちらは指導にとどめるとするのは公平さに欠ける。交通整理を要すると思っており、その点について踏み込んだお答えをいただきたい。特定の団体に偏った考え方が生まれるような下地をつくったことは、いけないのではないか。

産業課長 商工会とめまんべつ観光協会との補助金は、少し異なるという認識を持っている。商工会の関係はそらつきーポイントカード移行時点で、人件費的なものが処理されていないということ整理した。

めまんべつ観光協会の人件費は、昨年事務検査を行い、指摘した。平成23年度からきちっとした形での決算を申し入れ、文書通知も行った。適正な支出を観光協会と約束した。

町長 補助金の適正な活用指導についてなど

ご指摘の部分は、町としても努力を重ねている。一遍にすべてというスピード感からいえば、ほど遠い部分もあるかと思うが、着実に改善に向けて努力している。

【指定管理者制度関係】

深川委員 指定管理者制度を導入して管理運営している施設での問題点や事故等の対応マニュアルなど、現行でどのように取り扱われているのか。

総務課参事 指定管理を受けられる際の申請書に、問題点が発生した場合などの連絡体制の組織図をつけ、共通書式とした中で、いろいろな問題解決に当たっている。

町長 民間の皆さんがお持ちのノウハウを活用し、対処時のスピード感を期待してお願いしているが、町民の方々からは責任の所在やトラブル発生時の対

応といった部分で、まだなじまれている部分もあるのではないかと。今までは職員側の視点しかなかったものが、両者によって補完しなければならぬと話している。お互いが補完するという立場、役割をもう一度見直しながら、管理する施設がよりよく町民の方々にサービス提供できるものになるよう努力し、考えて行動したい。

【今後のまちづくりについて】

**植田委員** 以前、農協青年部で永六輔氏を招き、講演いただいた。その中で、町を元気にするには「おばちゃん」の力が一番大事と言われていた。東藻琴に地域振興施設建設の計画があるが、それをおばちゃんたちの力で盛り上げ、東藻琴の活性化につなげる政策が今後あってもいいのでは。また、団塊の世代の人口が多く、それを町行政に組み入れて役立てていただきたい。

**町長** まちづくりの中で、ワンポイントのところに光を当てる発想を持っているのが、女性の方々ではないか。その意見や行動力をまちづくりに反映できるように努力したい。

昨年度開設した創年講座へ地域参加支援を目的の一つに付加し、自分たちの趣味だけで終わらせず、地域参加支援をする活動に結び

つけていきたい。皆さんの力をいただいてまちづくりを進めたいと考えている。



町民皆さんの力でキラリと光るまちづくりを！

## 議会だよりへのご意見・ご要望を募集します！

『議会広報編集特別委員会』では、より読みやすく、親しみやすい広報誌を目指して、常に検討しながら作業にあたっています。

多くの住民の皆さんにごらんいただくため、また、住民の皆さんの声を多く取り入れるため「こういった内容を取り上げられないか？」

「こういう紙面構成にしてみてもいい？」など、どのようなことでも構いません。皆様のご意見・ご要望をどんどんお寄せください。お待ちしております。



【お問い合わせ先】 〒099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号 大空町役場内  
大空町議会事務局 TEL:0152-74-2111 (内線266)

# 町政を問う!

(一般質問3名)

平成24年第1回定例会では、3人の議員から町の施策などに関する一般質問が行われました。

※質問、答弁の内容は要約して掲載しています。詳細は議会ホームページ、両地区図書館で閲覧できる「会議録」をごらんください。

## 防災対策について

中堀 君子議員



**いざというときの備えを喚起しては**

**議員** 自分自身を守るための防災グッズは、町内商店での取扱いが少ない。町として町民に対し、いざというときに備えて用意するように喚起するお考えは。

**町長** 平成20年に配布したパンフレット「みんなで作る防災のまち」に、非常時の持ち出し用品の一例を掲載している。平成24年度に防災計画を策定することとしており、周知の環境としてガイドブックをつくる予定。毎年発行している「せいしか

つ・あんしんガイドブック」の活用も検討するべきという話も出ている。毎年実施している防災訓練では非常持ち出し袋を提示しており、今後、懇談会の場などで皆さんにPRする方法もあるのではないか。

**ガイドブック以外の対応も必要では**

**議員** 忘れたころにやってくるのが災害である。ガイドブック等で喚起することだが、それが届いたときだけ見て、ここは安全だからと、すぐに忘れてしまうのではないか。  
絵だけでも結構である。リュックサックの中に1日、2日しのげるような用品、食料などをいれておくことを、

例えば役場の玄関などで示すようなことも必要ではないか。

**町長** 日常の身の回りの備えは、町民皆さんみずからお願いしたい。その例示を、防災ガイドブックに示すことも一つの方法。毎年発行している「せいしかつ・あんしんガイドブック」の中にも掲載し、皆さんに見ていただくことが大切と考えている。

懇談会などにも持ち込んで、直接見ていただくことも必要と考えるが、役場の玄関やロビーなどでは、役場へは用事があるて来る方が多く、あまり見られないのではないか。  
今まで災害は多くなかったが、昨年の震災の教訓から、いつ何があってもおかしくない

という認識に立っていただくためのPR活動を含めて努力したい。

**公共施設耐震化測定の進捗状況は**

**議員** 町内にある公共建造物の耐震化測定は、どの程度進んでいるのか。

**町長** 公共施設384棟のうち耐震性が確認されているのが281棟、耐震化率は73.2%で

ある。約3割ある耐震化が不明の公共施設の多くは、町営住宅、教職員住宅、町民会館などに多い。今すぐにすべての耐震性を確認し、耐震化を図るまでは至らない。今後計画的に解体、建てかえ、補強などを進めていきたい。

**安全・安心して利用できるように**

**議員** 公共施設は町が常に点検し、安全に、安



毎年度発行される「せいしかつ・あんしんガイドブック」





防災訓練の様子。非常持ち出し袋の一例も示されています。

心して利用できることを望む。施設の安全性をいち早く調べ、大丈夫だということを町民に知らせてほしい。

**町長** 町民の方々が不安を抱かないよう、不安と思われる施設から優

先順位をつけて計画的に耐震診断を行い、必要な対応をとりたい。

### 小さな避難所を

**議員** 以前、希望する自治会の班ごとに小さな

避難所を設置することのお考えをお聞きした。既存の避難所を利用してほしいとのことだったが、年配の方が多くて歩くこともままならず、近くに避難所があればいいのという思いからの質問だった。再度お考えをお聞きしたい。

**町長** 現在避難所として指定している45施設・54棟のうち、67%の36棟が耐震性のある建物と判断している。約3分の1は耐震性の確認が十分とれておらず、順次計画的な耐震診断を実施しなければならぬ。

避難所の多くは町民会館を指定しており、数としては非常に多く、多過ぎて管理運営ができるのかといった視点からも、防災計画の中で検討したい。

今時点で避難所に指定している部分は、防災計画の見直しの中で、災害の区分に応じた利用の仕方をこの機会に

検証したい。

各自自治会の班単位での避難所は、その機能をしつかり持たせるという意味からも難しいと考えている。今回の震災から考えると、限られた施設の中で皆さんがまとまって過ごしていたら、そこにしっかりと対応を行うことが必要と判断している。

### 大変な方がいることに理解を

**議員** 全自治会の全班に小さな避難所をつくるということではない。距離や勾配などのため、年配の方が町民会館まで行くのが大変なところもあることを、町長にも承知してほしい。

**町長** 公共施設だから指定するのではなく、位置的なことも含めて配慮が必要かと思うが、希望に沿っていくつも設置することは、避難所の趣旨からして違うように思う。今後、何

かあったときに行政として管理できる施設なのか、数なのか、場所なのか。それらのことも考えながら、指定していく必要がある。最終的に避難所として管

理運営しやすく、町民皆さんが集まりやすいかどうか、そういった視点を加えながら、今後見直し作業の中で検討したい。

## お願い

議長宛ての案内文書については、事前に公務などの日程調整が必要になるため、必ず議会事務局まで「持参」または「郵送」でのお届けをお願いします。

### 送り先

〒099-2392  
大空町女満別西3条4丁目1番1号  
大空町議会議長(大空町議会事務局)宛

### 請願陳情をされる方へ(書式)例

(表紙)	(内容)
○○○○○○○○○に 関する  請 願 書 (陳情書)  紹介議員○○○○○◎	○○○○○○○○○に 関する請願(陳情)  要旨 ○○○○○○ 理由 ○○○○○○ ○○○○○○○  平成 年 月 日 大空町議会議長 様 大空町○○○○○ ○○○○○◎

※請願には紹介議員が必要ですが、陳情に紹介議員は不要です。

【お問い合わせ先】  
大空町議会事務局  
0152-74-2111(内線266)

# 合併後に調整が必要な事務事業の進捗状況について

齋藤 宏 司 議員



## 事務事業調整の進捗状況は

**議員** 合併協議の際、合併後に調整が必要と整理された事務事業調整の進捗状況は。

**町長** 合併時に調整が必要だった事業は96項目あり、毎年行う内部調査の中で、昨年6月時点で22項目が調整未完了という報告がされ、もう一度項目を確認した。例えば両地域の市街地を結ぶ連絡道路のように、事業は完了していないが、路線の選定は終わり、着手済みであるようなものは調整作業としては終わっ

ていると認識している。町としての「宣言」などは、新町としての新たな課題と認識しており、そういった点から考えて、調整未済とされた22項目のほとんどは調整作業が進み、方向性が出ているものと思っている。

簡易水道・下水道料金は、一本化をしていかなければならない状況下で、具体的方針まで至っていない。今後加速的に調整を進めなければならぬと考えている。

## 両地区の差をどう考えるか。

**議員** 簡易水道料金は女満別地区で統合されたが、東藻琴地区との差がかなりある。その辺の難しさがどうなのか。

また、自治会の統合や町内にある高校の考え方もお聞かせ願いたい。

**町長** 今年度から本町の給排水事業経営審議会で、全町的な料金のあり方の議論をお願いしている。将来の安定供給、健全経営を考えると、どういう料金体系がいいか議論し、統一を図らなければならぬと考えている。

自治会の統合は、町政懇談会でも話題に出ている。戸数の減少や高齢者率が高い自治会では、活動もままならない部分があり、町としても統合を考える必要はないのかという質問もあった。自治会連合会とも協議しているが、直接そういう話もいただいたので、どう

いう形が考えられるか町として話をする機会をつくりたい。

平成23年度に町内の高校のあり方を検討する会議を立ち上げ、議論をスタートさせた。そこでの考え方などを参酌しながら、町、教育委員会としての考え方が今後まとまってくるのではないかと。

## 調整していく上での考え方は

**議員** 簡易水道料金統一の将来的な考え方は。また、自治会については地区によってお年寄りが多いところもあり、そういったところの配慮、高校に関しては町内に2つある部分をとどのように考えればよいか。

**町長** 簡易水道事業は、基本的に皆さんからの使用料で運営していくことが前提。必要な経費をどのように負担いただくか、そういう視点に立って議論し、最



←女満別高校野球部の練習風景

両校とも、さまざまな分野で地域に根ざした取組を行っています。

最終的な方針を決定したい。

少子化や高齢化が進む自治会の中では、倦怠感、閉塞感がふえてきているように感じている。町としても、いろいろな形を考え、皆さん方に提示しながら議論いただきたい。

東藻琴高等学校校祭の様子→



2つある高校のうち1校が道立、1校が町立で、一方は全日制で普通科、もう一方は定時制で職業科である。大空町の中では、80名程度の問口が必要と考えるが、いろいろな意見をいただながら議論しなければならぬ。

# 農林漁業の “6次産業化”について

**6次産業化への  
取組は**

**議員** 本町における農林漁業の6次産業化に向けた具体的対応をどのようにお考えか。

**町長** 町として、①研究会を立ち上げて情報交換や調査研究を行い、

6次産業化の普及に当たる、②稲城市のアンテナショップを発信拠点と位置つけた販売促進の取組を（財）めま



**加工**

加工・販売にも力を



**町長** 6次産業化の分野でいうと、外国からの輸入圧力を受けづらい分野の作目等の生産が中心になるのではない

たい。  
町長の考えをお聞きしたい。

**農業をどのように  
進めるべきか**

んべつ産業開発公社へ委託し、さらに、定住自立圏形成協定を締結した網走市と販路拡大に向けた連携を進める  
③農林漁業者が6次産業化法の認定申請を行う際、6次産業化プランナーと連携して相談に乗り、農林水産省等と連携して申請を行うなど、3つの柱をもって6次産業化を応援したい。

**販路・商品拡大の  
進め方は**

**議員** 6次産業化をどういう形で推し進めるか、販路拡大、商品拡大について深くお答えいただきたい。

か。6次産業化に取り組みながら所得を確保することも、今後の農業展開で必要と思っている。  
本町では、1万3,500ヘクタールの農地で約4500戸の農業者が営農されている。この数を維持しながら、今の経営形態から少しずつ新しい展望が見えるところに挑戦していただく、そういったところを町として応援していきたい。

**町長** めまんべつ産業開発公社での産品開発、販路開拓がある程度軌道に乗り、事業化ができれば、それを引き継いでいたただける企業や事業体などに生産のノウハウや販売ルート

を

**町として積極的な  
対応を**

移譲することも検討する必要がありますかと思っております。  
引き継いだ企業などでさらに販路拡大をすることが、全体の底上げにつながるのではないか。そういったことにも今後取り組みたい。それが農商工連携といったところにつながるかと考えている。

**議員** 農家として、加工・販売は弱い部分である。6次産業化の研究會に期待するが、商品開発までもっていき

るよう、町としても積極的な対応をお願いしたい。

**町長** 6次産業化は、最終的に「もつかる」ことがキーワードではないか。「もつかる」ことに意識を持って取り組むたい。そのことが結果的に6次産業化普及の近道になるものと考えている。

## 大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向、議事日程、議決結果や会議録なども随時更新の上掲載しておりますので、ぜひごらんください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/> からアクセス



# 「子ども・子育て新システム」について

松田 信行 議員



## 教育、保育の現状と今後の展望は

**議員** 2015年をめぐりに幼稚園と保育園の垣根をなくした総合子ども園を創設し、待機児童の解消や良質な教育・保育の提供を図るという一つの方向性を示した。本町の幼児教育、保育の現状と今後の展望をお聞きたい。

**町長** 幼稚園では預かり保育サービスを実施し、保育園では幼児教育にも力を注いでいる。そういった意味から、幼稚園、保育園という名称を使っているが、幼

保一体化を意識した対応を行っていると考えられる。

## 教育長

夫婦共働き世帯の増加などの影響から子育て環境のさらなる充実が求められる。子育てニーズも多様化しており、本町にふさわしい子育て環境の整備充実を目指したい。

## 一時預かりと病児・病後児保育の考えは

**議員** 突発的で、特に緊急性がある場合の一時預かりと、病児、病後の児童の取扱いをどのようにお考えか。

**福祉課長** 一時預かりの部分では、昨年2月から「ファミリースポーツ事業」を開始し、子供を預けることができ

## 一回メモ

※1)「病児保育」と「病後児保育」

「病児保育」とは、保育所に通っている子供が病気になり、保護者が仕事を休めないときには保護者にかわって病気の子供の世話をするという意味で使われます。また、そういった子供の保育を行う施設を呼ぶ場合もあります。

「病後児保育」とは、病気は治っても本来の状態に戻っておらず、通常の保育メニューを受けるのが難しい回復期の子供を保護者にかわって世話をする意味で使われます。

るようになっていく。病児保育等(※1)は都市部などで実施されているが、本町ではまだ考えていない。

## 全体的な「少子化」を 見据えて

**議員** 「少子化」を考えたとき、本町の幼稚園、保育園でどのように対応していけばよいか。

## 町長

幼稚園、保育園という使い分けをしているが、垣根をなくしていきたい。少子化などを考えると、就学前の子供たちを預かる拠点として、両地区に1カ所ずつあることがいいのでは。豊住保育園と女満別幼稚園を一つの拠点に、ということも想定した議論を考えたい。

## 子育て施策の推進を

**議員** 世代によって保護者のニーズも変わる。大空町の子育てをどうしたらいいのか、教育委員会と福祉担当とで議論するべき。保護者の意見を把握しながら、子育ての推進を望む。

**町長** 子育てニーズは時

代を追って多様化しており、対応できるように

に保護者の意見を聞きながら取り組みたい。



ニーズに応じた環境整備を。

## 地域防災計画について (町政執行方針から)

## 地域防災計画をどの ように見直すか

**議員** どのような視点で防災計画を見直すのか。また、震災により福祉避難所の確保がクローズアップされたが、本町の考え方は。

**町長** 北海道が示したオ

ホーツク海沿岸の津波シミュレーションでは、地震発生時に最大1メートル程度の津波が女満別湖畔などに押し寄せると想定されており、津波災害の規定をふやしたい。想定震度や避難所などの見直しも行う。

生活援助員配置や要

援護者に配慮した物資等の確保が必要な場合、特別養護老人ホームなどを福祉避難所にする。ことが適当と考える。計画見直しの中で関係施設等と調整し、指定する方向で考えたい。

**スピーディーに進めるには精査が必要**

**議員** 確保した福祉避難所、どの程度の対応ができるのか。施設との契約や利用量なども精査しなければ、スピーディーに進まない。

**町長** 必要に応じて避難所から福祉避難所への移送、場合によっては当初から福祉避難所での受入れも考えられ、計画の中で区分しながら位置づけをおこななければならない。福祉避難所の間口不足も想定し、農業構造改善センターや両地区老人福祉センターなど、福祉避難所としての予備的位置づけも必要。

## 環境保全型農業対策及び農業担い手実践研修事業について（町政執行方針から）

**2事業の今後の展開は**

**議員** 事業実施に当たつての経緯、概要、今後の展開を含めたねらいは。

**町長** 「環境保全型農業直接支払交付金制度」

が平成23年度に創設され、27年度までを一区切りとして実施される。環境保全等をねらいとするが、作物の差別化や国際的競争力の付与も目的としてあるのでは。消費者ニーズにこたえ、農業所得の向上にもつながると考え、

町としても応援していきたい。

農業担い手実践研修事業は、平成16年度からJAオホーツク網走が事業主体となって実施している。新規就農者の実践的技術、知識習得を目的とし、研修期間は2年間。平成21年のJA統合後、東藻琴の農業者も本事業に参加しており、平成24年度から本町も応分の負担を行う。質の面での農業担い手支援策になると認識している。

**さらなる事業展開を**

**議員** 環境保全型農業対策事業は、本町にとっても非常にハードルの高い事業だと思っているが、既に取り組まれている方だけで終わらせず、さらに展開されるよう考えてほしい。



消費者の安全にも考慮して

**町長** 今回のような事業であれば、農業関係の皆さんにお知らせするというような機会を年次的、定期的に設けてPRし、意見交換や実施者の支援に取り組んでいきたい。

はあるか。

**類似事業へ支援する考えは**

**議員** 農業担い手実践研修事業に類する事業をJAめまんべつも行っているとするれば、町として協力していく考え

**町長** JAめまんべつから、具体的に取り組んでいるという話はない。本町は農業が産業の中心となり、大勢の方々がかわっている。農業者をなるべく減らさないようにすることが、地域活力につながるのでは。そういったことから研修は有意義なものと思っており、町として支援していく考え方は常々持っているつもりである。



未来につながる農業支援を。

# 「議会報告・視察調査報告会」を開催しました!

**女満別会場**  
(大空町役場議事堂文化ホール)

開催日:平成24年2月16日(木)  
開催時間:午後6時00分～午後8時20分  
参加くださった町民の方々 **14人**

**東藻琴会場**  
(東藻琴農村環境改善センター)

開催日:平成24年2月17日(金)  
開催時間:午後6時30分～午後8時20分  
参加くださった町民の方々 **28人**



## 議会報告・視察調査報告会の主な内容

- ①議会基本条例制定の進捗状況報告
- ②議会 総務文教厚生常任委員会 行政視察調査実施状況報告
  - 自治基本条例の先進事例について
  - 滞納対策としてのインターネット公売について
  - 障がい者福祉センターの運営について
  - 友好町「氷川町」における中学生・高校生の研修交流について
- ③議会 産業建設常任委員会 所管事務調査実施状況報告
  - 観光交流センターの改修計画について
  - 地域間連絡道路の整備について
  - 芝桜公園温泉施設の活用計画について
- ④議会広報誌編集活動報告

町民皆さんとの対話と開かれた議会を目指し、昨年2月、本町議会初めての試みとして「行政視察調査報告会」を実施しました。本年も同様に、議会の取組をお知らせし、町民皆さんの声を直接聞く機会として「議会報告・視察調査報告会」を開催し、ご参加くださった皆さんから、多くのご意見をいただきました。

## 報告会での主な質問・意見と回答

### 参加者からの質問・意見

◆大空町でも、差押え物件をインターネット公売にかけられる構想があるのか。

◆議員任期中に1度、道外視察研修を実施するという決めごとがあるのか。

◆障がい者福祉センターの運営に関する取組で、まったく同じことが美幌町の「しゃきっとプラザ」で行われている。そこを視察することで目的が達成できたのではないのか。

◆障がい者福祉センターはどのような障がいを持つ方が利用し、スタッフはどの程度なのか。住民のほとんどが詳細を知らないのでは。

◆芝桜公園に整備されたイチゴ栽培ハウスと障がい者福祉センターは、関連性があるのか。

### 議会側の回答

◇担当課で差押えを実施した経過もあり、今後の滞納対策の一つとして検討中との報告を受けている。

◇「きまりだから実施する」わけではなく、その機会を有効に活用させていただき、先進事例などを直接見聞することで感じ、学ぶことは大きい。

◇目的は同じでも、達成に向けた取り組み方はいろいろある。障がい者福祉という継続したテーマのもと、過去数箇所訪問させていただいたが、今回は本町と同等の人口規模という環境下での取組と成果を調べるため、熊本県美里町の障がい者福祉センターを訪問した。

◇知的障がいの方を中心に取られるが、将来的には多くの障がい区分に対応できる施設になってほしい。障がいを有する方が、就職するまでの訓練の場としてスタートすると認識している。本年4月1日から、12人のスタッフ体制で運営開始の予定である。

◇障がいを有する方の就労場所として、イチゴ栽培ハウスを活用する考えもある。

◆女満別老人福祉センターにも足湯があるが、余り利用されていないようである。そういった中で芝桜公園に足湯を整備する理由は。	◇湯量に余裕があり、湯温が下がらないまま廃棄するのなら、足湯として活用してはという説明を受けている。 ◇キャンプシーズンには必要ではないかという議論もある。
◆町内のインターネット環境の整備状況を把握しないで、インターネットを活用しての情報提供を行うことは、いかがなものか。	◇本町のインターネット環境の整備状況も考慮し、できるだけ安価で、数ある情報伝達手段の一つとして議会のインターネット中継を検討しているということである。
◆町道日進巴沢線は、非常に危険な道路ではないかと認識している。現段階でどの程度工事が進んでいるのか。	◇平成27年度までを第1期工事期間と予定し、女満別ゴルフコース入口付近まで工事が進められる見込み。一年でも早い工事完了を求めている。
◆冬期間除雪されない町道のところで伐採事業が実施されており、みずから除雪しなければならない。必要がある場合、要請すればすぐに除雪できる体制にあるのか。	◇除雪の必要性を行政に伝えていただければ、対応されるのではないかと。
◆議員定数を減らしたことのメリット・デメリットは。	◇予算規模は大幅に縮小したが、議員数が減ったことで、活動していくうえで大変になった部分もある。
◆参加する町民が少な過ぎる。これでは論外。もっとすごい工夫をするべきだし、町民に興味を持ってもらえる議会でなければならない。こういった報告会を継続して実施してもらいたいが、このような状況であることを真剣に考えてほしい。	◇タイムリーな内容を取り入れ、行政に対する議会の対応などを盛り込めば、より町民の関心も高まるのでは。議会側の準備が不足していた部分もある。来年度から議会基本条例施行を目指しており、議会審議内容の提供など、報告会の内容を見直さなければならないと思っている。
◆折込チラシなどで議会報告会開催が周知されているが、住民が多く集まるよう、広報車を活用する方法もあるのでは。有意義な報告会になるよう、住民が集まる周知方法の工夫を。	◇議会側として、報告会の内容や周知方法など、しっかり精査していかなければならない。

### 事後アンケートで寄せられた主な意見

- いくつかの課題に対し、議員間で討論してはどうか。
- 内容がわかりにくく、若者に説明しても興味を持たれないのでは。
- 全体的に説明が「かたい」。
- 皆、郷土を愛している。住みよいまちになるように努力を望む。
- 議員の個人懇談会も検討できないか。
- 町民の参加者が少ない。議会として努力が必要。
- ほかのイベントにあわせての報告会開催も検討してはどうか。



ご紹介したほか、参加いただいた町民皆様から、たくさんのご意見等をいただきました。いただいたご意見などから、町民皆様の多くが「議会報告会の継続実施」「議会として、多くの町民が参加するよう努力」を望まれていると認識しています。

昨年、議会に特別委員会を設置して「議会基本条例」の策定に向けた検討を行ってきました。その中でも議会報告会が位置づけられる予定です。

昨年、そして今回実施した報告会を通じて、その課題や問題点などを議会として十分精査し、町民皆様に興味を持っていただける、「ぜひとも参加したい」と思ってもらえるように、たくさんの方々が参加くださる、充実した内容の議会報告会にしていきたいと考えています。

議会として、さらに努力してまいりますので、ますますのご理解、ご協力をお願いします。

## 自治基本条例審査特別委員会

# 自治体の憲法とも呼ばれる 「自治基本条例」の詳細を審議！

平成20年6月から町民主体で組織する「自治基本条例（仮称）検討委員会」が中心となり、自治体の憲法とも言われる「自治基本条例」の制定に向けた草案づくりが行われてきました。

ことしの2月には検討委員会がまとめた最終報告書が町長に手渡され、3月の町議会定例会に最終報告書の内容をもとにつくられた「大空町自治基本条例」が提案されました。

議会では、提案された条例案が検討中である「議会基本条例」とも関連性が生じることや、提案された条例案の内容を十分理解し、町民皆様に伝えていくことも重要な役割であるという認識のもと、より慎重に審議するため、3月8日に議長を除く11人の議員で構成する「自治基本条例審査特別委員会」を設置し、引き続き審査、確認していくことになりました。

## 自治基本条例審査特別委員会の開催・審査経過等

### ①平成24年3月8日 ◆ 正副委員長の互選

⇒ ・委員長に近藤哲雄議員、副委員長に深川昇議員を選出。

### ②平成24年3月13日 ◆ 付託事件（議案）「大空町自治基本条例制定について」の審査

⇒ ・自治基本条例（仮称）検討委員会の最終報告書（草案）内容の確認。  
・本特別委員会に審議を付託された事件は、議会閉会中に引き続き審議することを確認。

### ③平成24年4月11日 ◆ 本特別委員会での今後の審議方法などを確認

⇒ ・特別委員会へ説明員の出席を求め、条例案全体を総括的に審査することを確認。  
・書面での確認事項事前提出と、委員会での直接質疑により、内容を審議することを確認。

### ④平成24年4月24日 ◆ 提案された条例内容を審査

### ⑤平成24年5月18日 ◆ 山下町長の自治基本条例に対する考え方を聞き、条例内容を審査

⇒ ・委員会報告へ山下町長の考え方も反映させることを確認

### ◆ 「自治基本条例制定について」の本特別委員会審査結果の確認

⇒ ・原案どおり可決するべきものとし、本会議で審査報告することを確認。



## 〔特別委員会での主な審議概要〕

条例案の主な確認概要	行政側の回答
条例では「自治」、総合計画では「まちづくり」という文言を使用している。整合性をどう考えるか。	「自治」は住民と行政との仕組みづくりを明確にするもので、総合計画での「まちづくり」は住民生活の幅広い分野にわたる。総合計画策定時期とも異なり、今後議論されると思われる。
条例内容をどのように住民に周知するのか。	町広報誌での特集、町ホームページ、ふれあいトークなどを活用し、長期的にお知らせする。
「自治推進委員会」を組織し、委員を公募するようだが、その考え方は。	委員会で協議する項目を公表し、男女の比率や年齢構成に配慮する。応募枠を超えた場合は選考する。
会議を原則公開と規定されているが、どのような会議を想定しているのか。	個人情報にかかわる内容が含まれない会議を想定している。
会議を公開することが適当ではないと判断した場合、町民に対してどのように周知するのか。	町のホームページへ掲載して対応する。
「それぞれの年齢にふさわしい方法により、町政に参加できる」と規定されているが、その具体的方法は。	ふれあいトークへの参加は男性が多く、高齢者や女性の集まりにも積極的に出向く。子供たちには、総合計画策定時に町の将来を描いた絵画や作文を寄せてもらうことを想定している。
「町民参加の方法及び時期」として規定している事項で必要なことは別に定めるとあるが、どのような定め方を想定しているのか。	審議会等への委員としての参加、意見交換会等への参加、町民意見公募(=パブリックコメント)、アンケート調査等は、必要性が生じた際に詳細をお知らせする。また、審議会等への委員としての参加、パブリックコメントなどは、今後要綱を制定し、内容を定める。
外部監査の規定がないこと、個別設置型(=住民意思を確認しようとする事案ごとに、住民投票条例を制定)での住民投票ということの説明をお願いします。	行政活動でも外部評価の実施に至っておらず、その段階で外部監査を取り入れるのはどうなのか。町として、今後検討したい。常設型の住民投票制度にすると、どんなことでも必要なのかということもある。十分対応は可能とのことで、個別設置型を選定した。
公益通報の規定がないのは、なぜか。	公益通報者保護法(=内部告発を行った労働者を保護する法律)が定められており、自治基本条例に盛り込まなくても問題ないと判断している。
「自治の基本理念」の中で、「自治体としての自律的運営を図り、自立を確保する」旨の規定があるが、どういった意味を言っているのか。	自分たちのことは自分たちで行う、自立精神に近いもの。住民の方には、自治に携わり、参加していただくということである。



「自治=みずからのことは、みずからの手で」という意味合いからも、町民、議会、行政が一体となり、それぞれの役割を認識しながら協働していくことで、よりよい「大空町」になっていくものと考えます。

自治基本条例は「主権者である町民が主体となった自治の実現」が目的とされており、大空町の自治の基本的事項を定める最高規範となります。その重要性を本特別委員会としても認識し、審議にあたってきました。

次に開催される議会で特別委員会の審査結果が報告され、採決される予定です。

町民皆さんが、まちづくりの主役であるということを実感できることを期待し、委員会では原案どおり可決すべきという審査結果に至りました。

「自治基本条例」をとおして、よりよい「大空町」になることを強く望みます。議会としても、そのために最大限の努力をする必要があると考えています。

# ● 常任委員会の活動状況 ●

総務文教厚生、産業建設の2常任委員会では、議会閉会中も随時委員会が所管する項目などの調査を行っており、主な審議項目等をお知らせします。

## 総務文教厚生常任委員会

開催回数	主な審議項目	説明概要等
平成23年度 第14回 〔H24.2.23開催〕 (審議項目 36件)	女満別伝承館の指定管理	社会福祉法人大空町社会福祉協議会を指定管理候補者に選定
	東藻琴地区を走る患者輸送車運行計画の見直し	午後の運行を2便から1便に減
	介護保険条例の改正	介護保険料基準月額が3,100円から4,000円に
	医療用備品の導入	女満別中央病院、東藻琴診療所の医療用備品を新規導入・更新
	東藻琴診療所医師の交代	前任医師の退職により、H24.4.1から医師が交代
	北見赤十字病院整備計画の概要	近隣市町村も整備費用を支援予定
	国保資格喪失届出の周知	広報誌やパンフレットを利用して周知徹底を図る
	孤立死防止に向けた取組	「見守りネット事業」でよりきめ細かな対応を行う
	乗合タクシー試験運行事業	H24・25の2カ年度、期間を限定して試験運行
	町外火葬場使用料助成金交付の廃止	町外の火葬場利用がないこと等、現状を踏まえて廃止
	広報モニターの設置	町民にわかりやすく、親しまれる広報誌づくりを目指し、広報モニターを実施
大空町自治基本条例（仮称）について	自治基本条例（仮称）検討委員会の最終報告書策定までの経過報告など	
平成23年度 第17回 〔H24.3.9開催〕 (審議項目 2件)	議会閉会中の委員会所管事務調査の内容確認	所管する調査項目の確認
	国に対する意見書提出の検討	・ 障害者総合福祉法（仮称）早期制定を求める意見書 ⇒ 国の動向を注視する ・ 大空町の国家公務員宿舎廃止に反対する意見書 ⇒ 国に対して提出
平成24年度 第1回 〔H24.4.23開催〕 (審議項目 8件)	H23ふるさと応援寄附金の採納等状況報告・同寄附金のインターネット収納	・ 29件で総額1,112万円の寄附 ・ インターネット公金支払サービスの活用を検討
	大空町税条例を改正	東日本大震災からの復興・再生、税負担の公平性等の観点から、地方税法等を改正することによる見直し
	平成24年度児童手当の概要	H24.6分から支給対象者へ所得制限を適用
平成24年度 第2回 〔H24.5.18開催〕 (審議項目 3件)	女満別小学校旧校舎解体事業及び東藻琴中学校大規模改修事業の日程	〔予定工期〕 女満別小学校：H24.12月ごろまで 東藻琴中学校：H25.1月末ごろまで
	平成24年度国民健康保険税率	平成24年度 国保税見直しの考え方
	H24委員会所管事務調査日程等	日程、内容等の検討
	H24委員会道内行政視察調査日程等	日程、内容等の検討

※平成23年度第17回委員会は合同開催

# 産 業 建 設 常 任 委 員 会

開催回数	主な審議項目	説明概要等
平成23年度 第16回 〔H24.2.24開催〕 (審議項目 17件)	農地基本台帳システムの更新	台帳への記載項目が追加されるため
	新設団地建設計画概要	平成24年度に女満別地区で2階建1棟8戸の公営住宅新設を計画
	まちづくり住民懇談会の活動経過	東藻琴の「地域振興施設」に関する協議状況等の報告
	国営美女地区かんがい排水基金条例の制定	将来負担を見越し、基金(＝預金)を設ける
	農業体質強化基盤整備促進事業補助金交付要綱の制定	国の4次補正予算により、暗渠管設置など農地整備に要する費用を一部助成
	新規の道営基盤整備事業概要説明	◆実施地区：女満別湖南昭和地区 事業予定期間：H25～33 概算事業費：10億5,000万円 ◆実施地区：女満別南部地区 事業予定期間：H26～34 概算事業費：21億2,000万円
	女満別農業構造改善センターの指定管理	社会福祉法人女満別福祉会を候補者に選定
	エゾシカ駆除事業助成金交付要綱制定	全道的に増加しているエゾシカ駆除を推進し、農林作物被害防止を図る
	「そらっきーポイントカード」のポイント発行	町が主催・共催する事業等への参加者にポイントを発行する
	老朽化した湖畔木道への対応	湖畔見学者の安全確保と維持管理経費節減のため、木道を一部撤去
	H23住宅リフォーム事業の実績	91件分 2,543万円を助成
	朝日ヶ丘公園指定管理協定書を改正	基本協定書に信用失墜行為の禁止、施設利用者への親切丁寧な対応、それらが守られない場合の指定取り消しを追加
乳酪館の衛生管理	H22・23にアイスクリームから大腸菌群が検出されたことに伴う対応	
平成23年度 第18回 〔H24.3.9開催〕 (審議項目 1件)	議会閉会中の委員会所管事務調査の内容確認	所管する調査項目の確認
平成24年度 第1回 〔H24.4.24開催〕 (審議項目 7件)	まちづくり住民懇談会の活動経過	懇談会の開催状況等の報告と今後の取組予定
平成24年度 第2回 〔H24.5.18開催〕 (審議項目 4件)	H24住宅リフォーム事業の状況	87件の応募があり、抽選により42件を採択
	町道の廃止	現状にあわせ、「町道朝日西7線」の一部を廃止
	H24委員会所管事務調査日程等	日程、内容等の検討
	H24委員会道内行政視察調査日程等	日程、内容等の検討

※平成23年度第17回委員会は合同開催

## 両 常 任 委 員 会 合 同 開 催

開催回数	主な審議項目	説明概要等
平成23年度 第4回 (15回総務・16回産建) 〔H24.2.24開催〕 (審議項目 3件)	第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画概要(介護保険料見直し)	H24～26の3カ年度の計画を策定、安心して暮らせるまちづくりを目指す
	女満別空港運航支援事業補助金交付要綱制定	航空路線運行新規参入や既存路線の増便、運行機材の大型化等を行った航空事業者へ一定の支援を実施
	自治基本条例(仮称)最終報告書策定経過等	審議経過等と条例案の内容
平成23年度 第5回 (16回総務・17回産建) 〔H24.2.28開催〕 (審議項目 1件)	自治基本条例案 解説版の説明	条例案の考え方など、解説に基づき説明
平成23年度 第6回 (18回総務・19回産建) 〔H24.3.15開催〕 (審議項目 1件)	住生活基本計画・町営住宅長寿命化計画概要	住宅施策を総合的、体系的に推進すること、町営住宅の長期的な維持管理を実現することを目的に計画を策定

# 議会活動掲示板

## 【豊住小学校開校100周年記念式典(3/3)】

豊住小学校が開校100周年を迎え、大勢の関係各位参加のもと、記念式典が盛大に執り行われました。



## 【障がい者福祉センター開所式(4/7)】

本町の障がい福祉施策の拠点となる「大空町障がい者福祉センター ちあふる」が供用開始となり、その開所式が執り行われました。



## 【各ふるさと会の開催】

本町に縁のある方々が参会のもと、4/21に札幌市で札幌東藻琴会、5/26には旭川市で旭川女満別会・同東藻琴会が開催され、議会を代表して後藤議長、田中副議長が出席しました。

## 【湖水開き安全祈願祭(5/1)・芝桜まつりオープニングセレモニー(5/3)】

春の訪れとともに今後迎える観光シーズンを控え、5/1に網走湖女満別湖畔で「湖水開き安全祈願祭」が、5/3には東藻琴芝桜公園で「芝桜まつりオープニングセレモニー」が執り行われました。



## 【町村議会正副議長研修会(5/29~30)】

諸課題への対応や研さんを目的に例年開催される研修会に、正副議長が参加しました。

# 要 望 意 見 書

次のとおり、国に対して意見書を提出しました。

## 大空町に所在する国土交通省東京航空局女満別空港出張所等に勤務する国家公務員の宿舎の存続を求める要望意見書

国は、国家公務員宿舎の削減のあり方に関する具体的方向性を検討するため「国家公務員宿舎の削減のあり方についての検討会」を設置し、昨年12月には具体的な削減計画がまとめられました。

本町には、国土交通省東京航空局女満別空港出張所等に勤務する職員が入居する国土交通省所管の国家公務員宿舎が所在し、さきにまとめられた削減計画の中では、当該宿舎も廃止を決定した宿舎の一つとして示されています。

本町においては、当該宿舎が廃止されることによって、その部分の受け皿となる住宅等を十分に確保することが難しい状況にあることから、人口・世帯の減少や、さらには地域経済に大きな影響を及ぼすことも懸念されます。

国家公務員宿舎に関しては国が検討すべき課題であり、今回の削減計画策定にあたっては、東日本大震災の復興計画、政府の危機管理体制、国家公務員の処遇や宿舎の維持管理方針なども関係しているものと理解しますが、宿舎の所在する本町に対して事前の情報提供や十分な協議もされないまま廃止を決定したことは地元自治体への配慮に欠けており、誠に遺憾であります。

空港があるまち「大空町」として、航空行政関係者が町内に居住することは、空港及び地域の活性化のために欠かせない大きな柱の一つとして位置づけております。

よって、国においては、国家公務員宿舎の廃止によって地元自治体が受ける影響を勘案し、その状況や意向等を削減計画における重要なポイントとして、当該計画を地域の実情に配慮して見直すとともに、廃止が決定された本町に所在する国家公務員宿舎を存続させることを強く要望します。

### 編集後記

「幸福の青い鳥を求めて」  
今号が発行されるころには、平成24年度  
予算が執行されています。町民の幸福を願  
って議決されたものです。

幸福の感じ方は、人それぞれだと思いま  
す。しかし、限りのない幸福、負担のない  
幸福、人を押しつけての幸福、長続きする  
のでしょうか。

幸福感の指標を数値化して、全国47都道  
府県の幸福度をランクづけしたグループが  
あります。結果は、総合ランキングでは福  
井、富山、石川の北陸3県がトップを独占  
しています。

同じ雪国でも、北海道は43位でした。ラ  
ンクを下げている要因は、「労働・企業部  
門」で45位、「生活・家庭部門」で46位と  
いうことらしいです。

しかし、北海道は産・官・学が一体とな  
って魅力ある就業空間をつくり上げるため  
に、個人・企業の努力、さらには道や市町  
村の政策次第で克服できるとのことです。

大空町の幸福度は、どのような位置にな  
るでしょうか。町民皆様方と一致団結して  
「幸福な地域づくり」を目指していきたい  
ものです。

決意を新たにギア・チェンジ!!

議会広報編集特別委員会

委員 品田好博

# 議会日誌

平成24年2月28日～5月31日

- 2月28日 第16回総務文教厚生常任委員会・第17回産業建設常任委員会(合同開催)
- 3月1日 (議長)女満別高等学校第58回卒業証書授与式  
(副議長)東藻琴高等学校第56回卒業証書授与式
- 2日 第13回議会運営委員会
- 3日 (議長)豊住小学校開校100周年記念式典
- 6日 (議長)大空町ことぶき大学卒業式・修了式
- 8日～15日 平成24年第1回大空町議会定例会
- 8日 第14回議会運営委員会  
第10回議員協議会  
予算審査特別委員会  
第1回自治基本条例審査特別委員会
- 9日 第17回総務文教厚生常任委員会  
第18回産業建設常任委員会  
第11回議員協議会
- 12日～14日 予算審査特別委員会
- 12日 第5回定住自立圏形成協定調査等特別委員会
- 13日 第2回自治基本条例審査特別委員会  
第15回議会運営委員会
- 14日 (議長)女満別駐在所開所式
- 15日 (議長)女満別中学校第41回卒業証書授与式  
(副議長)東藻琴中学校第65回卒業証書授与式  
第18回総務文教厚生常任委員会・第19回産業建設常任委員会(合同開催)  
第17回議会広報編集特別委員会
- 16日 (議長)女満別幼稚園第42回卒園式  
(議長)大空町教育懇話会
- 19日 (議長)女満別小学校第48回卒業証書授与式  
(副議長)東藻琴小学校第65回卒業証書授与式
- 20日～22日 (議長)女満別高等学校野球部甲子園出場に伴う激励(兵庫県)
- 23日 (議長)懸案事項処理(要望活動)(東京都)  
(産業建設常任委員会委員長)豊住小学校第65回卒業証書授与式
- 4月6日 (議長)東藻琴小学校・中学校入学式  
(副議長)女満別小学校入学式  
(議長)女満別建設業協会平成24年度通常総会
- 7日 (議長)大空町障がい者福祉センターちあふる開所式
- 9日 (議長)女満別中学校・女満別高等学校入学式  
(副議長)東藻琴幼稚園入園式  
(総務文教厚生常任委員会副委員長)女満別幼稚園入園式
- 10日 (議長)大空町女満別農民協議会第54回定期総会  
(副議長)東藻琴高校入学式
- 11日 (議長)女満別町農業協同組合第64回通常総会  
第1回議会基本条例策定特別委員会  
第1回自治基本条例審査特別委員会  
第1回議員協議会
- 13日 (議長)大空町教育懇話会

- 14日 (議長)大空町手をつなぐ育成会平成24年度定期総会
- 17日 (議長)大空町の高等学校教育を考える協議会
- 18日 (議長)オホーツク町村議会議長会平成23年度決算監査(網走市)
- 20日 (議長)大空町ことぶき大学入学式・進級式
- 21日～22日 (正副議長)札幌大空町東藻琴会ふるさとの集い
- 23日 第1回総務文教厚生常任委員会
- 24日 第2回自治基本条例審査特別委員会  
第1回産業建設常任委員会
- 25日～26日 (議長)女満別高等学校間口に関する要望活動(札幌市)
- 5月1日 (議長)湖水開き安全祈願祭  
(議長)女満別空港整備・利用促進協議会平成24年度総会  
(議長)第83回メーデー大空集会
- 3日 (議長)芝桜まつりオープニングセレモニー
- 11日 第1回議会広報編集特別委員会
- 17日 第2回議会広報編集特別委員会
- 18日 平成24年第2回大空町議会臨時会  
第2回総務文教厚生常任委員会  
第2回産業建設常任委員会  
第2回議員協議会  
第3回自治基本条例審査特別委員会
- 22日 熊本県西原村議会視察来町応対
- 23日～24日 町村議会事務担当者会議(町村議会実態調査説明会)(札幌市)
- 23日 (議長)オホーツク町村議会議長会定期総会(訓子府町)
- 26日～27日 (正副議長)旭川女満別会・旭川東藻琴会(旭川市)
- 28日～30日 (正副議長)第37回町村議会議長・副議長研修会(東京都)

おおぞらぎかい 大空町議会定例会 第24号平成24年(2022年)5月31日発行

発行/大空町議会 編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社北海印刷  
TEL:0152-74-2111 FAX:0152-74-2191

## 議会の傍聴はお気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて随時開かれますので、皆様もお気軽に傍聴においでください。
- ◆詳しくは、議会事務局へお問合せください。

**6月定例会は、6月19日(火)から**  
開かれる予定です。

評判の温泉で

ご入浴 ご宴会 ご宿泊

**源泉掛け流し**

素肌と美の健康泉

お風呂で心も身体もリフレッシュ!

リニューアルオープン!

・マイナスイオン

・遠赤外線

サウナで健康体

★血液の流れが良くなり、体が温まります。

★老廃物が排出されます。

◆日帰り入浴ご案内◆

・大人:390円・小人:140円

入浴時間/AM11:00～PM10:30

湯元ホテル 山水 美肌の湯

大空町女満別湖畔3丁目2番3号 TEL0152-74-2343